
ひろし・Road下巻

タケル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひろし・Road下巻

【著者名】

N7788A

【作者名】 タケル

【あらすじ】

寝ても覚めても女を追いかけるひろし。仕事以上にマメである。いや、仕事している暇はない。

Hペソード2 奴の習性（前書き）

この作品はフィクションであり、登場人物、その他の背景はいつさい実在しない。だが、ひとつとしたら、貴方の周りにもひろしティックな人はいるかもしれない。

HPSOード2 奴の習性

奴は自他ともに認める無類の女好きである。会社の同僚を強請つてセッティングさせた飲み会で出合つた女の子はもちろん、女と見れば見境なく声をかけ、電話とメールを教えた後、光の速さで速攻だ。

その後の成り行きを日報よりも詳しく述べ、熱心に報告する。

「えーなあーあの子、ヤラしてくれんかなー。」
デキないくせに囁つてみる。

同僚、上司も呆れ顔だが奴は気にしていない。これでも3人の男の子の父親だ。

一応奴にもポリシーはあるといつ。会社の女の子には手を出さない。過去にモデルルームのベッドでエッチして、次の日その痕跡を見つけた別の社員が

大騒ぎし、大問題に発展したからだ。バレなかつたものの冷や汗だつたらしい。

「後がモメるけー会社の子に手は出さんのかよ。
修羅場は慣れているようだ。

しかしセクハラは奴にとっては別腹である。

日常の会話も朝から下ネタ。会社の飲み会での奴の隣は覚悟が要る。太股、お尻、胸。触る、まわぐる、なでまわす。器用に良く動く手だ。

「下ネタで笑わせるのが一番ええんよー。誰も傷つかんし。」

笑えるのは自分だけである。

強引にセッティングさせた飲み会での奴の席は壁際だ。
世間の常識は無視して上司が居ようとまわらず上座に座る。斜めに構えたいらしい。

奴のストライクゾーンは自分の年齢プラスマイナス5歳である。
若すぎる子にはオジサン扱いされ、相手にされないからだそうだ。

「Hーっ、課長よりワシのほうが年上に見えるー? ショックじゃー。」

「顔も態度もデカイからだ。」

「ワシ最近インボなんよー、リハビリ手伝ってくれる?」

病院に行け!

「女房と子供が夏休みで実家に帰つて今独りなんよー。」

逃げられたんじゃない?」

「何もしないから家に来る?」

何かされたいとは思わない。」

「ワシ寂しがりやだから誰か居ないと飯も食えんのよー。」

カップ焼きそばでも食つてろー。」

1次会2次会と口論を進めていくと、じわりじわりとお気に入りの子に接近する。

お酒も程よく入ったところで電話番号とメールアドレスを聞き出し、その場でメール。

「仕事が暇になつたらまた会おうやー、また電話しまーす。」

常に仕事はサボっているはずだ。

飲み会が終わる頃には泥酔状態。

後輩に家まで送らせるが自宅マンションのHレベーター前で寝込んでしまつ。

新聞配達の気配でハツと我にかかる。これがほぼ毎日のように繰り返される。

どこで野垂れ死にしていてもおかしくない。と、思われるであろう。実際1、2回は本当だが女の子とウマくいった時の言い訳にも使える。

抜け目のない奴なのである。

これほどまでに鉄砲を撃つているのである。いくら手でも当たらぬわけがない。

数少ない成功例だが後々紹介してこいつ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7788a/>

ひろし・Road下巻

2010年10月20日21時33分発行